



# マイティー万能エポシーラー クリヤー

1. 一般名 弱溶剤形二液オールインワンシーラー
2. 規格表示等  
 2-1. 規格表示 JASS 18 M-201 反応形合成樹脂シーラーおよび弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー  
 2-2. ホルムアルデヒド放散等級分類記号 F☆☆☆☆
3. 特長  
 1) 二液反応硬化及びクリヤーのため下地の含浸補強、吸い込み防止に優れる。  
 2) 鉄部を除く各種素材(非鉄金属、無機系、木材、FRP等)との付着性に優れる。  
 3) 各種旧塗膜にも幅広く適用できる。  
 4) 弱溶剤系、水系上塗塗料のシーラーとして幅広く使用できる。

## 4. 塗料性状<sup>※1</sup>

項目		内容		
容姿		2液性		
荷姿		15kgセット(主剤14kg・硬化剤1kg)		
色相		クリヤー		
光沢 <sup>※2</sup>		-		
密度 (23°C)	塗料	0.95±0.05		
	揮発分	0.85		
粘度(23°C)		10~20秒(フォードカップ#4)		
加熱残分		35~40%		
乾燥時間	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	3時間	1時間	30分
	半硬化	24時間	8時間	6時間
標準膜厚		-		
引火点		SDS参照		
発火点		SDS参照		
爆発限界(下限~上限)		SDS参照		

- ※1上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。  
 ※2各つやの数値については別途お問い合わせください。  
 ※3エアスプレーの場合は、エアレス希釈率より5~10%増やしてください。  
 ※4上塗りを弱溶剤系とした場合の屋根面での歩行可能な最小時間、壁面での塗り重ね最小時間。

## 6. 施工上の注意

- 1) 十分攪拌し均一な塗料状態にしてから塗装する。
- 2) 希釈は必ず指定された希釈剤を使用する。
- 3) 被塗面の油、湿気、じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 4) 塗装間隔が長くなると密着不良になる。規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウェス拭きしてから塗装すること。
- 5) 吸い込みが著しい素材の場合は2回塗装すること。

## 8. 使用上の注意[警告]

1. 引火性の液体である。
2. 有機溶剤中毒の恐れがある。
3. 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器ラベルに表示

## 5. 塗装基準

項目		内容		
下地処理		素材表面の油分、汚れ、埃等を除去し乾燥した清浄な面とする。 pH10以下、含水率10%以下		
調合法		主剤14部:硬化剤1部(重量比)		
熟成時間		-		
可使時間		8時間/20°C		
塗装方法		刷毛、ローラー、スプレー		
希釈剤		塗料用シンナー又は塗料用シンナーA		
塗装方法	塗装方法	刷毛、ローラー、エアレス <sup>※3</sup>		
	希釈率	30~50%		
	標準使用量	0.10~0.12kg/m <sup>2</sup> /回		
	標準膜厚	-		
ウエット管理膜厚		-		
塗装間隔	温度	5°C	20°C	30°C
	最小(屋根) <sup>※4</sup>	48時間	16時間	12時間
	最小(壁面) <sup>※4</sup>	12時間	4時間	3時間
	最大	14日	7日	7日

注)標準使用量は実測値に基づき算出しています。  
 また被塗物の形状などにより標準使用量は変動いたします。

## 7. 関連法規則

危険物表示	主剤・硬化剤:第2石油類
有機溶剤区分	主剤・硬化剤:第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照
劇物表示	-
エポキシ樹脂 硬化剤表示	主 剤:エポキシ樹脂 硬化剤:ポリアミドアミン